



校報

水糸者

No. 1245

元年度・第104号

すみずみまで磨き上げられた種小

…第2回PTA環境整備作業、ありがとうございました！…

26日(土)に、PTA環境整備部主催の第2回PTA環境整備作業をしていただきました。今回は雨のために室内作業を中心に行い、地区ごとに天井のすす払いや窓ふき、トイレ掃除を中心の作業のほか、校地内の排水路の砂上げ作業も行いました。雨という悪条件でしたが、保護者と児童合わせて182名という大変多くの皆さんにより、校舎はすっかり磨き上げられました。皆さん、ありがとうございました。

雨の中の作業、ありがとうございました



普段のそうじでは、手が届かないところや手が回らないところまで、きれいに磨き上げていただきました。お家の人と一緒にそうじに励む低学年の姿も多くありました。



5・6年生のほかにも多くの子ども達がお手伝いをしてくれました。

雨の中、合羽姿で排水路の砂上げ作業を行う保護者の皆さん。手際の良い力強い作業のおかげで1年間積もった砂が取り除かれました。ありがとうございました。



今回は182名の保護者と児童にご協力をいただいた今回の環境整備作業のお陰で、校舎内外がピカピカになりました。校内だけでなく、校庭にたまってきていた砂の撤去も行っていたいただいた種小は、ますますきれいな明るい校舎になりました。

保護者の皆さんからのご理解とご協力のおかげで種小は成り立っている事を改めて感じた時間ともなりました。磨き上げられ、きれいになった校舎で、11月9日には地域の方々もお迎えしての学習発表会が開催されます。保護者と児童の皆さん、早朝からの奉仕作業、ありがとうございました。

PTA 保健環境整備部の皆さん、準備から最後の片づけまでありがとうございました。

今年も種市高校生による理科出前授業

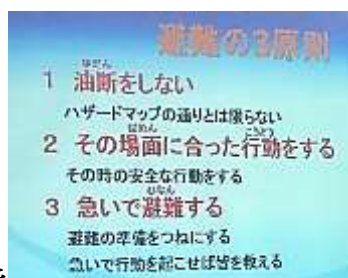
26日に5年生は、種市高等学校2年生10名の生徒さんによる『理科出前授業』を体験しました。今回は『惑星』についてスライドなども使いながら、しっかりと教えていただきました。



種市高校の「お兄さん」・「お姉さん」と楽しく、真剣に学ぶ5年生

5年生の子ども達は、昨年度の出前授業では『防災』について、水槽実験から津波の仕組みや恐ろしさ、波と津波の違いなどをしっかりと学び、海のそばで暮らす私たちにとって、この地で過去に発生した『津波』や、その仕組みをしっかりと理解したことで、この悲劇を伝え続けていく責任も教わりました。

昨年度に教わった、「津波が来ても堤防が守ってくれる」、「津波が来てもここまでは来るはずがない」といった慢心や油断をなくした生活を送る事が、命を守ることに繋がっていく事など、教えていただいたことを今でも忘れずに5年生は生活を送っています。



昨年度の種高さんの資料

今回の出前授業でも、種市高校の生徒さんからの説明を聞くことで、先輩に対するあこがれや学ぶ大切さも併せて理解できた貴重な機会となりました。

種市高校の皆さんには、毎年の奉仕作業も含め、いろんな場面で大変お世話になっています。

種市高校の生徒さんの一生懸命に働く姿、丁寧に子ども達に教える姿は、小学生への良き手本ともなっています。

いつもありがとうございます。



東北大会で本校の教育実践を発表してきます！

10月31日、11月1日に弘前市で開催される「第36回東北地区小学校特別活動研究協議会・青森大会」の中で、本校の教育実践を発表する機会をいただきました。

これは、岩手県小学校特別活動研究協議会から推薦されたもので、本校の菊池沙織教諭（5年1組担任）が東北6県から集まるたくさんの小学校教員を前に実践発表してきます。